

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	建築物の電磁シールド性能測定法刊行小委員会		主 査 名：三枝 健二 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：羽山 広文 主 査 名：村上 公哉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	「建築物の現場における電磁シールド性能測定方法規準・同解説」の刊行 ・原稿執筆→査読→修正→完成 ・刊行計画書提出→刊行→講習会開催		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：三枝健二(日本大学), 幹事：吉野涼二(環境調査事務所), 委員：笠井泰彰(大林組), 鶴田壮広(竹中工務店), 西村俊哉(日本板硝子環境アメニティ), 計 5 名		
設置 WG (WG 名：目的)	無		
2016 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	建築物の現場における電磁シールド性能測定方法規準・同解説
講習会	講習会「建築物の現場における電磁シールド性能測定方法規準、電気鉄道周辺における変動磁場の計測・評価方法規準」 参加者数 51 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	無
大会研究集会	無
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	2016 年 6 月～7 月においてパブリックコメントの募集を実施
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	計画通り AIJES を刊行し、講習会を開催した。
委員会活動の問題点 ・課題	無

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2016 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	計画通り AIJES を刊行し、講習会を開催した。			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。